

## 令和2年度第2回(第204回)隠岐の島町教育委員会会議録

1. 開催日時 令和2年5月21日午前9時30分

2. 開催場所 隠岐の島町教育委員会 会議室

3. 出席委員 教育長 野津 浩一  
教育委員 野津 幸恵  
教育委員 山下 豊範  
教育委員 常 角 敏  
教育委員 谷田 一子

4. 欠席委員 なし

5. その他の出席者 総務学校教育課長 吉田 隆  
社会教育課長 野津 千秋  
中央公民館長 金坂 賢一  
総務学校教育課長補佐 中村 恒一

6. 開会宣言 事務局職員が出席者及び資料の確認をした後、教育長は開会を宣言した。

7. 教育長報告要旨 教育長は前回の教育委員会の会議から本日までの主な事項を報告した。

－報告要旨－

- 前回からの会議等については、新型コロナウイルス対策に関することがほとんどであったことから、対策本部で決定のあった「町内に感染者が発生した場合の対応について」の報告を行った。
  - ① 役場機能を維持するため、職員を半数に分けて業務を行う。
  - ② 小中学校は一斉休校とし、期間は状況を見て検討する。
  - ③ 放課後児童クラブは中止とし、福祉課を中心として3年生までを中央公民館で預かる。

8. 議 事

【議第1号】 隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について

- 「隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－説明要旨－

(総務学校教育課長) 隠岐の島町学校給食センター運営委員会委員について、任期は2年であるがPTA会長より選出の方については、毎年度交代となる見込みである。

－質疑応答－

(野津教育委員) 各学校からの意見が大切だということで、学校代表とPTA代表が同じ学校とならないように選出していたと思っているが。

(総務学校教育課長) 次回は考慮させていただきたい。

－ 審議結果 －

○ 審議の後、全員の挙手により議第1号について原案のとおり議決した。

【議第2号】 令和2年度教育行政の方針について

○ 「令和2年度教育行政の方針について」について、事務局職員の説明の後、審議した。

－ 説明要旨 －

別冊「令和2年度教育の方針と事業(案)」について、担当課長よりそれぞれ担当する分野の教育の方針の変更点等を中心に説明をおこなった。併せて常角教育委員からの事前に提出いただいた質問・意見事項について説明があった。

なお、今回から町の概要、歴史等の記載は省かせていただくことと、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、色々な事業が中止・延期となることが予想されることについて了承をいただいた。

－ 質疑応答 －

○ 全体を通して

(常角教育委員) 先日の学校再開について、決定の報告はあったが、決定事項と教育委員会の権限はどういう関係にあるのか。

(教育長) 基本的には学校設置者である教育委員会で決めていくことであるが、新型コロナウイルス感染症については、町の対策本部があるのでそこでの方針に基づき、決まったことをお知らせするといった対応をさせていたっている。島根県においてもそういった対応となっている。

(野津教育委員) 学校再開については、どうなるのか連休中も心配していたが再開の連絡だけ報告があった。この間の検討状況等についても情報が欲しかった。

(教育長) 5月7日からの学校再開については、各小中学校を回り、意向を聞いてきた中で町長に再開のお願いをした。途中経過を委員の皆さんに報告しておらず申し訳なかった。

(常角教育委員) 竹島学習等に関する記述がないが教育委員会としての姿勢が見えなくてよいのか。調査によれば竹島学習を受け始めた25歳ごろの若者は関心が高いが、それ以上の若者で関心が低い。県内でも隠岐の関心が一番低い。特に漁業者は暫定水域へのあきらめが強い。竹島学習の推進は緩めてはいけない。

(総務学校教育課長) 記載がなかったことについてはお詫びしたい。竹島学習については、P8、10、12、27、30にあるふるさと教育の項目にそれぞれ付け加えさせていただきたい。

(常角教育委員) ふるさと教育の現状はどうなっているのか。

(総務学校教育課長) これまで、各校で様々な取り組みをし、その成果を町のいきいき祭で展示してきたが短時間でもあり、昨年は、隠岐汽船や図書館でも展示し、皆さんに見ていただきご意見をいただいている。

(野津教育委員) 方法を見つけて、子どもがみんなの前で発表をすることもいいのではないかと思う。

(谷田教育委員) 子どもたちの声を聞くと以前より島に帰りたい子が多くなっている。これまでの教育の賜物と考えられる。展示の仕方として、人の集まる商業施設など目に触れる機会を沢山増やしていただく工夫が必要。

(社会教育主事) がんばってやっているがすぐに成果が表れない。何年かたったときに何らかの形で

成果が表れている。学校を支えるサポーター制度をつくり仲間を増やすような取り組みや展示など色々な人に見てもらいながらふるさと教育に関わる人を増やすことを考えている。発表の場が全体ではないので各地区の祭りなどで発表している。意見を頂きながら新たな事業を展開していければと考えている。

(常角教育委員) 各学校の方針を見て、ふるさと教育の位置づけなどを検証することも面白いと思う。

(谷田教育委員) オンライン授業の充実を検討していく必要があると思うが。

(総務学校教育課長) 学校においてはGIGAスクール構想を進めており、今後の方針を決めるため、各家庭の環境等の調査も行っている。

(山下教育委員) 先日、子どもがアンケートをもって帰っていた。メリット・デメリットも書いてあり、丁寧に分かりやすい内容であった。各家庭で持家やアパートなど環境が異なることから難しいと思うが、いい試みだと思う。

(常角教育委員) 学校及び社会教育施設の視察の具体的な計画は。

(総務学校教育課長) これまで生涯学習センターの視察や、ふるさと給食の試食などを実施しており、今年度も計画したい。

#### ○ 学校教育に関して

(常角教育委員) 子ども議会について、私は非常に重要な取り組みでふるさと教育の集大成だと思っているが記載がないと思うが。

(総務学校教育課長) 昨年からは中学生議会として実施している。P27のふるさと教育のところに記載したい。今年度については、中止となっている。

(常角教育委員) 豪州高校との交流についてねらい、効果は。

(総務学校教育課長補佐) 魅力化の一環として隠岐高校で始まった事業で、数年前からは中学生まで対象を広げて教育委員会で事業実施している。直近の本町での受け入れと豪州への派遣時の予算規模、自己負担額について説明。全国規模の大会で優秀な成績を収める生徒も出ている。対象となる生徒の人数も限られており、検証等必要である。

(常角教育委員) 今後、発表の場を設ける等、他の生徒への還元が必要である。

(総務学校教育課長) 今年度は、7月実施を考え連絡をとっていたが、新型コロナウイルスで極めて難しい状況であると考えられる。今後、教育魅力化推進協議会で方向を決めたい。

(常角教育委員) 学力向上対策事業で実施される教職員研修の内容は。

(総務学校教育課長) 子どもたちの資質や能力を高めるために、指導力の向上を図るもので、6月に外国語教育、8月に特別支援教育、2月に道徳を予定しているが新型コロナウイルス感染症により、外国語教育は中止となっている。

(常角教育委員) キャリアパスポート事業の内容は。

(総務学校教育課長) 小学校から高等学校まで12年間で学んだことを記録して振り返ることができるようファイルを配付し綴ってもらう。国の事業で文科省のフォーマットであるが、地域、各学校で変更できる。各学年4〜5枚程度となる。

(野津教育委員) 今までやってきたことを集めていくという考えなのか。

(山下教育委員) 学校施設修繕について、改修工事をしていくことは必要であるが、施設自体を長持ちさせることが必要。メンテナンスをしっかりとしながら長持ちさせることを心がけて欲しい。

(総務学校教育課長) 昨年度、長寿命化計画ができた。これを基に計画的に改修工事を行っていきたい。また、管理方法についても考えていきたい。

(野津教育委員) 魅力ある学校づくり事業と高校魅力化事業と分けて記載しているが小中高で一貫してやっていくべきものであるがどう考えているか。また、去年は統括プロデューサーが配置されていたがその人がトータルで取りまとめをすると思っていた。今までやってきたことはどうなるのか。

(常角教育委員) 高校でジオパーク研究をやっているが小・中学校の焼き直しではいけない。高校に行ってからレベルを考える必要がある。

(谷田教育委員) 高校魅力化は非常に難しいと思っている。小中の教育魅力化と一緒に考えられないことが沢山ある。また、県立高校でもそれぞれ目指すところが違う。普通高校では島を愛することもだが、進路を目指して学力を高めて、夢の実現を目指していく。進路の面でも充実することは魅力化の一つである。県と町が一緒になってそれぞれの学校の魅力を高めていくことが大切。

(総務学校教育課長) 予算上、それぞれ事業が分かれているが来年度以降検討していきたい。プロデューサーについては、非常に難しい仕事だと考えている。それぞれの高校にコーディネーターを配置しており、連携をしながら進めていきたい。

(山下教育委員) 魅力化コーディネーターは大変な仕事。もっと島民全体で考えていくべきであるが、まずは、私たちのところで協議の場を設けるなどフォローしていく必要がある。

休憩(11:00~11:10)

#### ○ 社会教育に関して

(常角教育委員) 青少年野外活動のつどい(大満寺山キャンプ)は復活しないのか。

(社会教育課長) 避難施設の老朽化、学校の希望が少なくなってきた。災害リスク、指導者不足などあり、まずは指導者の研修を考えていたが今年は難しい。ジオパーク学習と絡めて日帰り研修などを検討してはどうかと考えている。

(常角教育委員) 指導者づくりは必要。自然に親しむ教育がもっと増えるべき。

(野津教育委員) 長期宿泊体験については、子どもたちに体験して欲しい。大満寺山の上で、すぐに家に帰ることのできない閉ざされた環境の中で、自然に触れるという体験はかけがえがない。以前には、子どもが成長したという感想を沢山いただいた。

(谷田教育委員) 日帰りでも体験させてあげたい。

(社会教育主事) 隠岐なのに海を知らない子どもが沢山いる。この2年で難しさを感じている。まずは指導者の仲間を増やし、大満寺山キャンプを体験してみたい子たちを公民館と協力してプログラムが組めればと考えている。総合的な学習の中で学校へアプローチして行きたい。

(常角教育委員) 町の現代的課題は何か。それらの学習を住民にどう保障するのか。どのように公民館と協議し、どういう方向性で進めるのか。

(社会教育課長) 現在、策定中の総合振興計画においても人口減少、災害の備え、交流人口、グローバル化、医療福祉従事者不足等の課題がある。これらを社会教育とどうつなげるのか難しい。町の課題に取り組める人材の育成、教育は社会教育からしていかななくてはならない。公民館との連携が不足しているので連絡会、研修に力を入れるなどし、課題を一緒になって考えていきたい。

(常角教育委員) 教育委員会は社会教育行政、公民館は社会教育現場なのでそれぞれが連携を持って、現代的課題の学習プログラムを組み立てていくことが必要。

#### ○ 公民館に関して

(常角教育委員) 生涯学習の推進にある高齢者教室と福祉部局のサロン活動との関係は。

(中央公民館長) 高齢者教室については、集まった方々で自主運営しており、公民館としては年間の

事業の中で手伝いをしている。サロン活動は社会福祉協議会の補助金を受けて実施している別の事業であるが、中にはサロンと分館活動がリンクしている場合もある。地区によって違う。

(常角教育委員) ふるまい向上を具体的にはどう取り組むのか。

(中央公民館長) 具体的にこの事業というものは今のところないが、原点はあいさつだと思う。大人が姿勢を見せること。

(中央公民館長) 竹島学習のことになるが、P37 公民館なんでもマナビ講座の中で講座を行ってみるのもいいのではと考えている。

#### ○ 図書館に関して

(野津教育委員) 児童生徒の読書活動の支援のプレジャー発行が昨年なかったと思う。同世代の子どもが紹介したものを配ると興味を持つことが考えられる。是非お願いしたい。また、柔軟な開館時間の対応はありがたい。

(谷田教育委員) 幅広い世代に利用をという姿勢が出ていると思う。街中の本屋が閉店し、図書館の担う役割が一層増えている。

(山下教育委員) ウェブ予約について、計画には入っていないのか。

(社会教育課長) 計画に具体的には載せていないが、今年準備している。今は、ウェブで確認し、電話予約をしている。ウェブ予約になると電話対応など職員の負担も減り利便性が上がる。

#### ○ 給食センターに関して

(常角教育委員) ふるさと給食について、すごく充実して欲しい。

(総務学校教育課長) 給食約 1,300 食分を準備する必要あるが、魚類等は食材の加工ができていないと給食に間に合わないので協力がいる。野菜は地元を積極的に利用している。

(野津教育委員) 異物混入に関して、記載はなくてよいのか。

(総務学校教育課長) 現場の方では、毎日注意して行っており、今後も頑張っていきたい。

(山下教育委員) 今回の一斉休業により、皆さん給食のありがたみを感じてると思う。隠岐の給食は素晴らしいと思うので皆さんにお知らせすることが必要だと思う。

(総務学校教育課長) 今回、報告事項に上げているが材料費はそのまま、給食費の個人負担を減額している。ふるさと給食等について、担当者も頑張っており、しっかりとアピールしていきたい。

#### － 審議結果 －

○ 審議の後、議第2号について、ふるさと教育に竹島学習や中学生議会に関する項目を付け加えるなどの修正をし、その他は原案のとおり議決した。

## 9. そ の 他

【令和2年度第3回(令和2年6月)教育委員会の会議の開催について】

○ 令和2年度第3回、来月6月の教育委員会の会議については、事務局職員の提案に異議がなく、6月30日火曜日午前9時30分に教育委員会で開催することとした。

【議事録の確認について】

○ 令和2年度第1回教育委員会会議録について、委員全員により確認を行った。

10. 閉 会 宣 言 教育長は閉会を宣言した。

11. 閉 会 日 時 令和2年5月21日午前11時59分

12. 会議録作成者 総務学校教育課総務係 中村恒一

署名日 令和 2 年 6 月 30 日

隠岐の島町教育委員会 教育長 野津浩一